

(様式例)

平成29年度 自己評価・学校関係者評価 報告書(研修部)

岐阜県立岐阜本巣特別支援学校

学校番号

105

自己評価

学校教育目標	・夢の実現に向け自ら学び考え、生き生きと表現できる児童生徒を育てる。 ・心のふれ合いを大切にし、自他共に尊重できる児童生徒を育てる。
--------	---

評価する領域・分野	「研究推進」 「研修・教育開発」
現状及びアンケートの結果分析等	授業づくり、教員の専門性にかかわる項目5つの全てにおいて、75%以上が『あてはまる』に該当しており、前年度よりその割合も増加している。特に、「2:一人一人のよさや可能性をのばせるような工夫をしている」「22:授業には体験的な活動が取り入れられ、児童生徒の実態に即している」は、両項目とも85%を上回っており、概ね良好であると考えられる。しかしながら、「18:教員は、専門的知識が豊かで教師としての資質を身につけている」は、75%、「23:授業は、児童生徒一人一人に合った教材・教具が準備されている」は、76%であり、今後課題が残る。 児童生徒が学校生活を楽しくに登校できる授業づくりをすすめるとともに、学習活動、学習内容のねらいと成果等を保護者に分かりやすく説明することや、職員の一人一人が専門性を高め、個の障がい状況に応じた授業づくりを行う等、より質の高い授業づくりが求められていると考えられる。
今年度の具体的かつ明確な重点目標	① 研究推進 ・児童生徒の「社会性」「主体性」を育む授業づくり ・職員の授業力向上 ② 研修 ・研修、情報提供の実施による専門性の向上
重点目標を達成するための校内組織体制	・研修部員を中心とする組織的な研究推進 ・学習支援部、支援センター部との連携強化による研修会の実施
目標の達成に必要な具体的取組	① 研究推進 ・年間2度の全校授業研究会とそれに伴う事前事後検討会の実施 ② 研修 ・講演会やその他各種研修の実施及び日常的なOJT ・研修、書籍、先行研究等の紹介や文献・資料の共有化等の推進
達成度の判断・判定基準あるいは指標	① 研究授業の実施、及び事前事後検討会を通して授業改善が行われたか。 ② 職員の専門性の向上を目指した研修の実施ができたか。
取組状況・実践内容等	① 2度の全校授業研究会と事前事後検討会を実施 全グループ研究授業実施、一人一授業参観 ② 全校研究会における専門家の招聘と 専門性向上のための夏季スタンダード研修、「ICT」「VT」「OT」等の自主研修会実施
評価の視点	評価
① 研究授業の実施、及び事前事後検討会を通して授業改善が行われたか。	A (B) C D
② 職員の専門性の向上を目指し、事後の授業に活かす研修の実施ができたか。	A (B) C D
成果・課題	総合評価
○全校授業研究会とその事前事後検討会の実施により、研究チームにおける仮説の明確化、研究内容の整理、単元づくり等、授業改善に向けた取り組みを行うことができた。 ○「明日の授業に活かす」専門性向上のための各種研修を実施することができた。	A (B) C D

▲児童生徒の実態に即した系統性ある指導計画の作成 ▲専門性向上につながる研修をより参加しやすく実施		
来年度に向けての改善方策案	・児童生徒の実態に即した系統性ある指導計画、わくわくする単元づくりとその支援 ・教師の専門性の向上を目指した研修の実施と外部研修会への派遣計画	

学校関係者評価 （平成30年2月1日実施）

意見・要望・評価等 ・多職種連携の研修にも力を入れて下さい。 ・これからも専門性向上の意識をもちつづけて指導力の向上に努めてください。
